

がん化学療法的主要副作用

- 吐き気

- 骨髄抑制

白血球減少による感染症

赤血球減少による貧血

血小板減少による出血傾向

- 便秘

- 下痢

- 口内炎

- 倦怠感

- 手足のしびれ

副作用対策

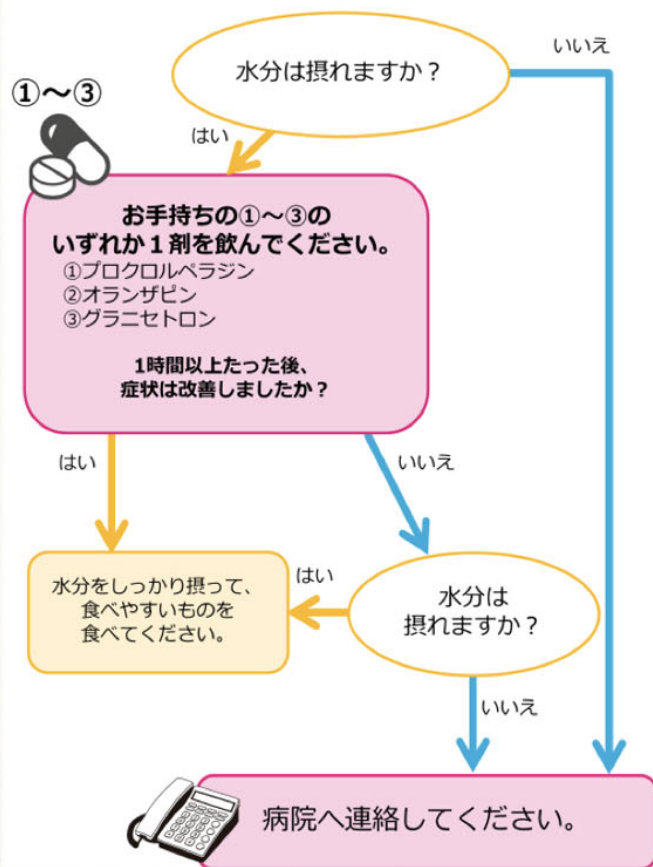
- がん治療による副作用軽減を目的とした予防や治療
- 副作用の軽減は日常生活を維持し、治療の継続もできる
- 悪心・嘔吐・貧血など様々な副作用が見られる
- それぞれの副作用を対症療法的に軽減していくことが必要

悪心・嘔吐(吐き気)

- 日常生活の維持や治療継続のためには予防が第一で適切な管理・コントロールが必要
- 化学療法に関連した悪心・嘔吐は発症時期により急性遅発性、予測性の3つに分類される
- 抗悪性腫瘍薬の悪心、嘔吐のリスクに応じて制吐剤の予防的投与を行う

悪心・嘔吐(吐き気)

<吐き気がするとき・気持ち悪いとき>



<吐き気がするとき・気持ち悪いときに飲むお薬>

番号	お薬の名前(成分名)	飲み方	備考
①	[吐き気止め] プロクロルペラジン	1回1錠 1日3回まで ※6時間おきに飲むことができます	・錐体外路障害(そわそわする、足が浮くような感じがするなど)が現れましたら飲むのをやめ、ご連絡ください。
②	[吐き気止め] オランザピン	1回1～2錠 1日1回まで ※夕食後または就寝前が望ましいです。	・飲むことにより、眠気が出ることがあります。 ・不安を和らげる作用もあります。 ・錐体外路障害(そわそわする、足が浮くような感じがするなど)が現れましたら飲むのをやめ、ご連絡ください。 ・糖尿病の方は使用できません
③	[吐き気止め] グラニセトロン	1回1包 1日1回まで	・便秘になる場合があります

※錐体外路障害：すいたいがいろうしうがい

- 吐き気止めは、治療を開始したその日から使うことができます。
- 症状が重くなってからではなく、軽いうちから使用することをお勧めします。
- 吐き気で食事が摂れないときには、食事の30分前に飲んでみる方法もあります。

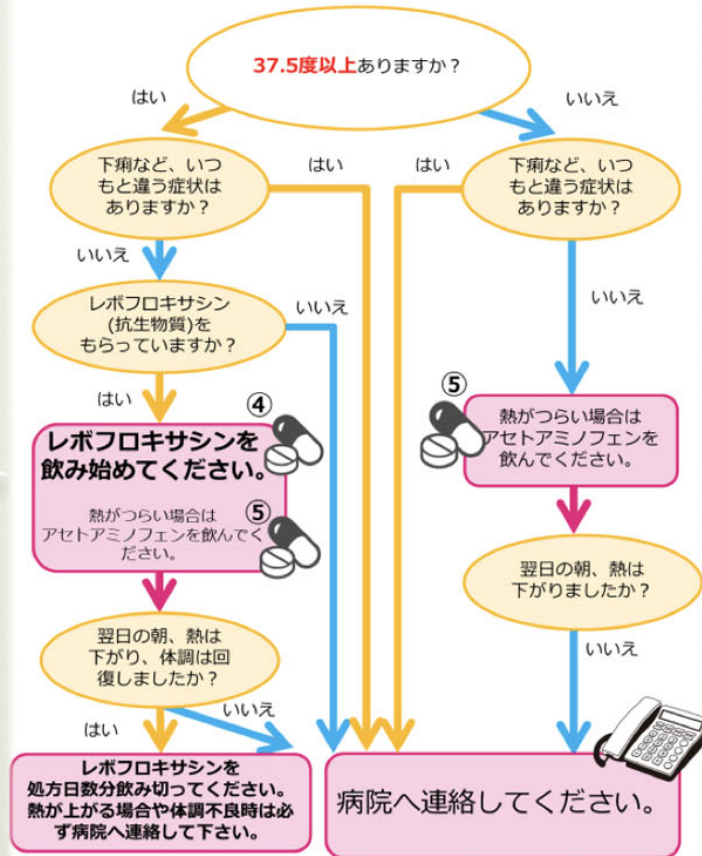


骨髓抑制

- 白血球減少(感染しやすくなる)
→感染症対策・・・発熱性好中球減少症の対策
- 適切な処置をしないと致命的となる
- 発熱がある場合、迅速に抗菌薬を開始する


骨髓抑制

<熱が出たとき>



<熱が出たときに飲むお薬>

・白血球はからだの免疫を保つ働きがあるため、低下すると感染症にかかりやすくなります。37.5度以上の熱が出たときは必ず抗生物質を飲むようにしてください。

番号	お薬の名前(成分名)	飲み方	備考
④	[抗生物質] レボフロキサシン 	1日1回1錠 ※飲み始めたら熱が下がっても、処方日数分を飲みきってください。 ※24時間あけてお飲み下さい。	・感染症の原因菌を治療するお薬です。 ・酸化マグネシウムを飲む場合は、レボフロキサシンを内服したあと、2時間以上あけて飲んでください。

番号	お薬の名前(成分名)	飲み方	備考
⑤	[解熱薬] アセトアミノフェン錠 300mgまたは500mg 	1回1錠 1日3回まで ※6時間おきに飲むことができます。	・熱が出てつらい時に飲んでください。 ・筋肉痛などの痛みを抑える効果もあります。

《感染症にかからないための予防対策》

1. ご自身やご家族の日頃からの手洗い、うがいを心がけましょう。
2. 外出時は、マスクをつけましょう。
3. 歯磨きや定期的に体を洗うなど清潔にするように心がけましょう。

《注意事項》

レボフロキサシンを飲んででも解熱しない場合、解熱後に再度発熱する場合、体調が回復しない(倦怠感が強い、食事がとれないなど)場合には必ず連絡をしてください。



便秘対策

- 化学療法中に便秘の症状を訴える患者さんはかなり多い
- 抗がん剤の副作用によって、腸管の運動低下により便秘になる
- 抗がん剤以外にも、生活の変化(食事・水分摂取の減少、運動量の低下)などによっても起こりやすい

便秘対策

<便秘のとき>

普段の排便回数
1日 回

便秘に加えて、おなかの痛みや吐き気はありますか？

いいえ

はい

酸化マグネシウムを飲んでください。

⑩

それでも改善しない

センノシドまたはピコスルファートを飲んでください。

⑪・⑫


それでも改善しない





病院へ連絡してください。

<便秘のときに飲むお薬>

- ・便秘が続くと、腹痛や吐き気、食欲不振の原因となります。
- ・水分をよく摂取してください。また、適度な運動も効果的です。
- ・どちらの薬も、効果が出すぎると下痢を引き起こすことがありますので、便の性状を見ながら適宜調節してください。

番号	お薬の名前(成分名)	飲み方	備考
⑩	[便秘薬] 酸化マグネシウム 	1回1~2錠 毎食後	<ul style="list-style-type: none"> ・便を柔らかくするお薬です。 ・便の状態によって、適宜飲む回数を調節してください。 ・下痢になった場合は、中止して下さい。 ・レボフロキサシンを飲む際は、レボフロキサシンを飲んだあと2時間以上あけて飲んでください。

番号	お薬の名前(成分名)	飲み方	備考
⑪	[便秘薬] センノシドA・B 	1回1~2錠 寝る前	<ul style="list-style-type: none"> ・おなかを動かして排便を促すお薬です。
⑫	[便秘薬] ピコスルファート 	1回 1.5滴~3.0滴 寝る前	<ul style="list-style-type: none"> ・おなかを動かして排便を促すお薬です。 ・コップに適量の水を入れ、薬液を垂らして服用します。 ・薬液は1.5滴から開始し、症状にあわせて増減してください。 ・なお、1回に3.0滴まで増量しても効果がない場合にはご相談ください。

おくすり連携ファイル

- 抗がん剤治療の内容
- 検査の結果
- 副作用の状況



がん治療を行う病院と院外薬局で情報を共有



病院薬剤師

- 患者さん ご家族へ

治療内容、検査値の提供
副作用対策

- かかりつけ薬剤師へ

地域の薬剤師を対象とした研修会

- 医師へ

副作用等の情報を収集し、診療に活用



かかりつけ薬剤師

- 患者さん・ご家族へ
 - 抗がん剤、制吐剤等の説明
 - 服用状況、副作用の確認
- 病院へ
 - 服用状況、副作用発現等の情報提供

まとめ

- 癌治療に伴って様々な副作用症状がある
- 副作用緩和のために、予防や治療を行う
- 当院では、院内薬剤師と院外薬剤師が情報共有し、副作用の軽減や安全で安心できる薬物療法を目指す

他の病院でも病院薬剤師と院外薬剤師が患者さんの情報を共有することにより、副作用の防止・軽減、早期発見が可能
詳しくは、かかりつけ薬剤師にご相談ください